

様式B

令和7年度 幼稚園 ゆめプラン評価公表シート

和歌山市立西和佐幼稚園

教育目標 心身ともに健やかでたくましい 西和佐っ子を育てる

ゆめ	重点目標	具体的取組	取組の状況
<p>見て・触れて・感じて・響き合う子供を育てる</p>	<p>心と体で自然を感じ、心身ともに健やかでたくましい西和佐っ子を育てる</p>	<p>安心・安全の生活を充実させる</p> <p>遊びの環境の工夫</p>	<p>保護者から100%の評価を得た。本園のシンボルである大きな築山は、今年度も保護者の方々から土あげをしていただき、今年も重機を扱える保護者の方により、きれいに整備していただいた。子供たちも、楽しんで様子を見て、ダイナミックに遊ぶことが出来た。また、築山だけでなく、園庭の隅々まで安全面に留意し見直しを行い、子供たちが立ち入って安心して楽しく遊べる環境作りに努めてきた。今年度、園舎の外壁工事も完了し、より美しく、子供たちにとって魅力ある環境を目指していきたいと考える。</p>
		<p>友達とかかわる楽しさを味わう</p>	<p>保護者から100%の評価を得た。自分で考えて遊びを選び取り組む中で、異年齢の友達とも自然にかかわる場面がたくさん見られた。特に、5歳児が小さい友達に対して優しくかわる様子が多く見られた。また、3歳児、4歳児も互いの保育室でも安心して遊ぶ姿や刺激をもらう様子も見られ、様々な場面で微笑ましい異年齢でのかわりがあった。遊びを通してかわりあうことで、相手を思いやる気持ちや、折り合いをつけること、時には譲ることなど、人との付き合い方も学んでいると考えている。</p>
		<p>意欲的、主体的に活動するための十分な時間の確保</p>	<p>保護者から100%の評価を得た。子供たちが自分で遊びや活動を選択し、夢中になって遊びこむための時間の確保をしていることで、子供たちの心の安定に繋がっているのではないかと考える。好きな遊びの時間に満足感、達成感を十分に味わうことで、気持ちを切り替え、クラス全体の活動に安心して取り組むことが出来ているように思う。また、自分の思いをじっくりと聞いてもらえることで相手の話を聞くこともできてきている。それらが、保護者の方々から浸透してきているのではないかと考える。</p>
		<p>保護者と子供の成長を共有し、連携を深める</p>	<p>保護者から100%の高評価を得た。毎日の送迎の時間に保護者の方々に子供の様子を伝えたり、保護者の方々と顔を見合わせて子供の様子を聞いたりすることで、互いに子供の成長を共有出来ていると考えている。また、保護者の方々が安心して話せる関係性を築こうと努めている。家庭では見られない子供の成長や様子、保護者の方々が不安に感じていることなど、これからもしっかりと連携を取り、保護者の思いを受け止めながら家庭と共に子供を育てる意識を高め、取り組んでいきたい。</p>
		<p>地域や小学校・保育所等との連携や交流</p>	<p>保護者から100%の高評価を得た。今年度は、4、5歳児が近隣の田で田植え、年長児が西和佐保育所への訪問、また郵便局や近隣の店舗に行かせていただいた。小学校とは、1年生との計画的な交流に加え、今年度は5年生とも田植えから稲刈り、おにぎり作りへの一連の流れを共に体験することが出来た。交流を重ねることで、小学校がより身近に感じ、安心の場となっているのではないかと考える。引き続き子供たちが地域の方々から見守られ、親しみの気持ちをもてるようにしていきたいと考えている。</p>
		<p>保護者への情報の発信</p>	<p>保護者から100%の高評価を得た。普段の遊びの様子や生活の中で育てられている子供たちの姿を通し、幼稚園の教育観を様々な方法で伝えることに努めている。行事の様子はホームページで伝えることで、保護者の方々に知っていただけているのではないかと考える。また、未就園児の保護者の方々もHPから園の情報を得ているようである。子供の様子を定期的に玄関に掲示すること、園だよりやクラスだより、ホームページも更新を続けていることが評価されていると考え、これからも努めていきたいと考える。</p>
		<p>園内や園庭の環境の工夫</p>	<p>子供たちが遊びたい、面白そうだと思うような場づくり、また子供たちが考えをめぐらし、夢中になって遊びこめる、自ら関わっていけるような園内の環境の工夫に努めている。職員で常に子供たちの遊びの様子を見たり、場の見回りをしたりしながら少しでも気になる場があれば、全職員で考え、整備してきた。子供たち意欲も高まり、遊びも充実出来ているのではないかと考える。保護者から100%の高評価を得ている。引き続き、子供たちの様子をしっかりと見ながら、環境の工夫に努めていきたいと考える。</p>
		<p>自然への興味関心</p>	<p>保護者から100%の評価を得られた。四季を感じ、自然に関わるような環境の工夫に心がけてきた。今年度は、クスギ、マツボックリなどがたくさん実った。子供たちは、樹木の実や葉で遊び、ピワ、キンカンなどの実が採れた喜びを味わい、じゅず玉遊びや、草むらにいる虫を見つけ楽しんでいる。1年を通して樹齢200年のクスノキに登ることも楽しんでいる。きれいに整備されたプールでたくさん水遊びをすることも出来た。園内の自然に興味関心をもっていたのではないかと考える。</p>
		<p>食育の推進</p>	<p>子供たちが育てたい野菜を選び、楽しみながら栽培に取り組めた。近所の店に買いに行き、自分たちで植え、水やりや草引きをして成長を楽しみにしていた。子供が収穫し、持ち帰ったり、園で調理をしたりと、子供たちと一緒に考え、調理したり、食べたりにきた。今年度は、米の収穫から食までも長期にわたり楽しむことが出来た。そのような活動からか保護者から100%の評価が得られた。これからも栽培を通して食の楽しさ、大切さを感じられる様に取り組んでいきたい。</p>

保護者アンケート集計結果の比較から見えてきた成果や課題

ほとんどの項目に於いて「とてもそう思う・そう思う」の好意的な反応であり、100%の高い評価をいただいた。特に、「友達とかかわる楽しさを味わう」「食育の推進」では、「とてもそう思う」が約90%という高評価となり、保護者の方々が、幼稚園での活動や生活の様子を理解してくださっているのではないかと感じる。ホームページや、園が発信している情報についても、常に見てくれている方が多いようで、保護者の意識の高さも感じられる。そのような中で本園の教育に対して、保護者の方々がきちんと評価してくださったのではないかと感じる。「遊びや環境の工夫」「園内や園庭の環境の工夫」については、まだまだ課題も見受けられる。一人一人の子供たちが楽しく過ごせる園の環境を目指して、これからも改善改良に取り組んでいきたいと考える。そして、地域も巻き込み、見守られ、子供たちが安心安全に成長していけるように努めていきたいと考える。今後も、保護者の方々に安心して預けていただけるように、また引き続き本園の教育について理解を深めていただけるように、教職員一丸となって努めていきたい。

今年度の取組の成果と課題・今後の改善方策

今年度は、幼稚園が子供たちにとって、より安心安全な場であること、そして、園庭、保育室の遊びの場の環境の工夫、職員同士が良い関係性を築き、子供たちにとって、より良い援助のあり方について話し合いを進めてきた。職員間の情報の共有、子供の援助についての意見交換、小学校の先生方、保育所の先生方との意見交換も行ってきた。質の高い教育とは何か、援助の在り方、子供理解など職員の研修やものの考え方などについても、努めていきたいと考える。また、保護者への配慮や援助も必要になってきているのも現実である。このような中でも西和佐幼稚園を選んで来てくれている子供たち、協力的な保護者の方々の思いにしっかりと応えできるようにしていきたいと考える。毎年、途中入園児が多く、新学期から1年後には数人が増えている。今年度も3歳児が4人増えたことを喜んでいる。しかしながら、全園児数は以前に比べ大きく減少していることは課題である。これからも公立幼稚園の良さを大切に、子供たちの成長に寄り添い、質の高い幼稚園教育を目指していきたいと考える。

学校(幼稚園)関係者評価委員による自己評価の検証

- ・幼児教育において、何を大切にすべきなのか、言葉だけでなく日々の保育者の姿と、子供の学び、成長を通して、保護者の皆さんも理解されていることが評価シートから伝わる。夢中になって遊びこむ子供の姿を見せていただいた。質の高い幼稚園教育を実現されていると強く感じる。
- ・西和佐幼稚園が目指している目標に対し、先生方の努力や活動が保護者にもよく届いているのだと感じた。五感を使って、子供たちが日々遊びを通して、受動的な学びではなく、能動的な働きにより、成長していける環境が揃っていると思った。
- ・毎回、保育参観を通して、子供たちのたくましい姿を遊んでいる様子から感じられた。遊びのための環境整備も、築山を始め、リヤカーなどの子供が使う道具も倉庫から取り出しやすく、また片づけやすく整頓されていた。小学校との交流も素晴らしく、子供たちが互いにかかわりあいながら育っている様子が感じられた。
- ・園児が米作りをし、手作業で白米にしておにぎりを作って食べる。素晴らしい体験だと思う。今後も継続して行ってほしい。
- ・季節による自然の変化を楽しみ、体験する工夫がなされており、一年を通して子供たちが主体的に遊べる、安心安全な環境づくりがなされている。職員と保護者の連携を大切にされていることが素晴らしい。